

款	項	目	担当部局・課名			
3	2	6	教育部・社会教育課			
10	5	1				
事業区分		継続事業 (拡充)		政策3 子どもの未来応援		
事業名		事業 (経費) 内の主 たる費 目	節名称	細節名称	予算額 (千円)	
子どもの居場所づくり推進事業 ・放課後児童健全育成事業 (放課後児童クラブ) ・放課後子ども教室事業			① 報酬	④会計年度任用職員報酬	71,986	
			② 職員手当等	⑬一般職期末手当	10,823	
			③ 職員手当等	⑭勤勉手当	9,108	
			④ 委託料	①業務委託料 (物件費) 放課後児童クラブ	138,298	
			⑤ 委託料	①業務委託料 (物件費) 放課後子ども教室	30,208	
実施計画No,	50	* 三次市予算に関する説明書			⑥ (①~⑤の計) →	260,423
該当ページ	112~113 / 頁 192~195 / 頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →			13,903	
		⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →			274,326	
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
	274,326	国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	100
		65,009	73,460	0	135,757	
	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金	子ども・子育て支援交付金				
	県支出金	子ども・子育て支援交付金, 学校・家庭・地域連携協力推進事業県費補助金				
	負担金	放課後児童クラブ負担金, 過疎地域持続的発展基金繰入金				
事業内容及びその目的 (めざすもの)	放課後や土曜日・長期休業中に、家庭に代わる子どもの居場所づくりとして、放課後児童クラブの運営や地域住民の参画を得て体験活動を取り入れた放課後子ども教室事業を行う。					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>【放課後児童健全育成事業 (放課後児童クラブ)】 243,761千円 実施小学校区：10箇所 (22支援) (三次・十日市・神杉・酒河・八次・和田・吉舎・三良坂・三和・甲奴)</p> <p>○報酬 (③非常勤職員報酬) 98千円 (④会計年度任用職員報酬) 71,986千円 ・主任放課後児童支援員 2人 ・放課後児童支援員 (週30時間勤務) 32人 (予定) ・放課後児童支援員 (週25時間勤務) 14人 (予定) ・日々雇用 59人 (予定)</p> <p>○職員手当等 (⑬一般職期末手当) 10,823千円, (⑭勤勉手当) 9,108千円</p> <p>○報償費 (①委員等謝礼) 136千円</p> <p>○旅費 (①費用弁償) 2,650千円 (②普通旅費) 46千円</p> <p>○需用費 (①消耗品費) 1,982千円 (②燃料費) 308千円 (④印刷製本費) 108千円 (⑤光熱水費) 5,166千円 (⑥修繕料) 400千円</p> <p>○役務費 (①通信運搬費) 924千円 (⑧その他保険料) 782千円</p> <p>○委託料 (①業務委託料) 138,298千円 ※別添資料参照 (③施設機器等管理委託料) 300千円</p> <p>○使用料 (①土地借上料) 180千円 (⑨その他使用料及び賃借料) 58千円</p> <p>○備品購入費 (③その他備品購入費) 400千円</p> <p>○負担金, 補助及び交付金 (①負担金 (補助費)) 8千円</p> <p>【放課後子ども教室事業】 30,565千円 実施小学校区 (実施団体)：9箇所 (君田・青河・川地・田幸・川西・作木・粟屋・河内・布野)</p> <p>○報償費 (①委員等謝礼) 55千円 ・放課後子ども教室推進事業運営委員会委員謝礼</p> <p>○報償費 (②講師謝礼) 62千円 ・放課後子ども教室安全管理員等研修会講師謝礼</p> <p>○需用費 (③光熱水費) 240千円 ・市施設分電気料金等</p> <p>○委託料 (①業務委託料 (物件費)) 30,208千円 ・放課後子ども教室推進事業運営業務委託料</p>					
別添資料	有					
(一覧表/図面等)						
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)						
三次市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の定めによる。 三次市放課後子ども教室推進事業実施要綱の定めによる。 放課後児童健全育成事業については、放課後児童クラブの運営業務を令和8年10月1日から民間委託する (予定)。						

放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）業務委託料（138,298千円）内訳

【放課後児童クラブ運営業務委託】 127,166千円

現在、公設公営で運営している放課後児童クラブの運営業務を民間委託するもの。

○委託期間：令和8年10月～令和12年3月

○委託料：令和8年度：127,166千円
令和9年度～令和11年度：763,600千円（債務負担行為・3年間）

【内訳】人件費（時間外手当・各種手当・法定福利費含む）
報償費（研修に伴う講師謝金）
需用費（教材等の消耗品・修繕料）
リース料（車両等）
諸経費

○運営を委託する放課後児童クラブ：10箇所
（三次・十日市・神杉・酒河・八次・和田・吉舎・三良坂・三和・甲奴）
※ただし、ちゅうおう児童クラブ（十日市）は、従来どおりの事業者に委託を継続する。

○契約方法：公募型プロポーザルによる随意契約

○スケジュール（予定）：
4月 第1回審査委員会（スケジュール・仕様書等の決定）
公募開始
5月 第2回審査委員会（プレゼンによる業者選考）
6月 契約
7～9月 業務引継ぎ（事業者による支援員募集）
保護者説明会
10月1日 事業者による運営開始

【放課後児童クラブ運営業務委託】 10,132千円

民設民営の十日市小学校区の1教室（ちゅうおう児童クラブ）の運営業務を中央福祉会に委託するもの。

【訪問看護師派遣業務委託】 1,000千円

放課後児童クラブへの医療的ケア児の受入に伴い、訪問看護師の派遣を委託するもの。

受入予定児童数：1人

派遣予定期間：長期休業中（夏休み等）のみ

款	項	目	担当部局・課名			
10	1	3	教育部・教育企画課			
事業区分		新規事業		政策3 子どもの未来応援		
事業名		事業 (経費) 内の主 たる費 目	節名称	細節名称	予算額 (千円)	
学びの多様化学校設置事業			① 報 償 費	①委員等謝礼	407	
			② 旅 費	①費用弁償	46	
			③ 旅 費	②普通旅費	456	
			④ 委 託 料	④調査測量設計監理等委託料	4,000	
			⑤ 工事請負費	①工事請負費	45,000	
実施計画No,						
* 三次市予算に関する説明書		⑥ (①~⑤の計) →			49,909	
該当ページ	182・183 /頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →			0	
	184・185 /頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →			49,909	
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和8年度	49,909	22,732	0	23,000	0	4,177
(予定) 特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金	学校施設環境改善交付金				
	県支出金					
	負担金					
事業内容及びその目的 (めざすもの)	不登校等により学びにアクセスできない生徒(児童)を対象に、心理的安全性が担保された環境を整備し、個々の生徒の特性や興味・関心に応じた、柔軟で包摂的なカリキュラムを編成することにより、学びの選択肢と機会を確保する。					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>○報償費(①委員等謝礼) 407千円 ・学びの多様化学校等の設置に係る検討委員会委員謝礼</p> <p>○旅費(①費用弁償) 46千円 ・学びの多様化学校等の設置に係る検討委員会委員先行設置校視察等</p> <p>○旅費(②普通旅費) 456千円 ・文部科学省・広島県教育委員会協議等</p> <p>○委託料(④調査測量設計監理等委託料) 4,000千円 ・トイレ改修等環境改善工事設計監理</p> <p>○工事請負費(①工事請負費) 45,000千円 ・トイレ洋式化 30,000千円 ・間仕切壁,内装,電源設備等改修 15,000千円</p> <p>【設置校(予定): 現) 君田中学校】</p>					
別添資料	無					
(一覧表/図面等)						
						
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)						

款	項	目	担当部局・課名			
10	1	3	教育部・学校教育課			
事業区分		継続事業		政策3 子どもの未来応援		
事業名			節名称	予算額 (千円)		
【学校支援員等配置事業】 市費教員・学校支援員・教育支援員・ 障害児介助指導員			① 報酬	④会計年度任用職員報酬 119,984		
			② 職員手当等	⑬一般職期末手当 22,261		
			③ 職員手当等	⑭勤勉手当 22,122		
			④ 旅 費	①費用弁償 5,308		
			⑤ 役 務 費	④手数料 85		
実施計画No,		44				
* 三次市予算に関する説明書			⑥ (①~⑤の計) → 169,760			
該当ページ	182~ /頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →		73		
	191 /頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →		169,833		
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
	169,833	0	0	0	169,800	33
	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金	過疎地域持続的発展基金繰入金				
事業内容及びその目的 (めざすもの)	確かな学力の向上に向けた市費教員の配置。 個々の児童生徒の教育的ニーズに応じた指導や支援を行う学校支援員 (教育支援員) の配置。 特別な支援や配慮を要する児童生徒への介助や支援を行う障害児介助指導員の配置。					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	○報酬 (④会計年度任用職員報酬) 119,984千円 ・市費教員 (理科支援員・外国語指導員) 9,089千円 ・学校支援員・教育支援員 63,376千円 ・障害児介助指導員 47,519千円					
	○職員手当等 (⑬一般職期末手当) 22,261千円 ・市費教員 (理科支援員・外国語指導員) 797千円 ・学校支援員・教育支援員 12,274千円 ・障害児介助指導員 9,190千円					
	○職員手当等 (⑭勤勉手当) 22,122千円 ・市費教員 (理科支援員・外国語指導員) 670千円 ・学校支援員・教育支援員 12,267千円 ・障害児介助指導員 9,185千円					
	○旅費 (①費用弁償) 5,308千円 ・市費教員 (理科支援員・外国語指導員) 1,007千円 ・学校支援員・教育支援員 2,224千円 ・障害児介助指導員 2,077千円					
別添資料	○役務費 (④手数料) 85千円 ・学校支援員・教育支援員 70千円 ・障害児介助指導員 15千円					
無 (一覧表/図面等)						
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)						
市費教員 (理科支援教員及び外国語指導員) については、複式学級の授業を支援するため、継続して配置する必要がある。また、通常の学級において特別な教育的ニーズや特別な配慮を要する児童生徒に対し、学校支援員や障害児介助指導員を派遣し、より細やかな支援・指導を行っている。特別な支援や配慮を要する児童生徒は、年々増加傾向にあり、教育的ニーズに応えるよう人材確保や支援・指導の質を向上させる必要がある。						

市費教員
 理科支援員 4 名
 外国語指導員 2 名
学校支援員等
 学校支援員 2 2 名
 教育支援員 6 名
障害児介助指導員 2 2 名

款	項	目	担当部局・課名			
10	1	3	教育部・学校教育課			
事業区分		継続事業		政策3 子どもの未来応援		
事業名		事業 (経費) 内の主 たる費 目	節名称	細節名称	予算額 (千円)	
外国語指導助手派遣事業			① 委託料	①業務委託料 (物件費)	54,833	
			②			
			③			
			④			
実施計画No,		45	⑤			
* 三次市予算に関する説明書		⑥ (①~⑤の計) →			54,833	
該当ページ	184・185 /頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →			0	
		⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →			54,833	
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
	54,833	0	0	0	54,800	33
	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金	過疎地域持続的発展基金繰越金				
事業内容及びその目的 (めざすもの)	児童生徒の外国語によるコミュニケーション能力の向上や、外国語教育の充実のため、ALTを派遣し、小学校外国語活動、外国語科、中学校英語科の授業の支援を行う。 ALTによる国際交流事業を実施 (国際交流イベント、オンライン国際交流、英会話教室、英検対策など) する。					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	○委託料 (業務委託料 (物件費)) 54,833千円 市内全小中学校30校に11名の外国語指導助手 (ALT) を派遣					
	 <p>イングリッシュイベントの様子</p>	 <p>オンライン国際交流 (香港) の様子</p>				
別添資料	無 (一覧表/図面等)					
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入、DX等による手続きの簡素化、事業内容見直し、対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め、費用対効果が大い、対象が限定的、地域等との協議に基づく取組など)						
今後も継続して外国語教育を充実させ、グローバル人材の育成を図っていくために、本事業は、児童生徒がALTと言葉だけでなく表現やジェスチャーなど豊かなコミュニケーションを通して異なる言語・文化に触れる機会の創出につながっている。さらに主体的にコミュニケーションを図ろうとする外国語教育を推進していく必要がある。						

款	項	目	担当部局・課名			
10	1	3	教育部・学校教育課			
事業区分		継続事業		政策3 子どもの未来応援		
事業名		事業 (経費) 内の主 たる費 目	節名称	細節名称	予算額 (千円)	
三次版学校ICT活用事業			① 需用費	①消耗品費	221	
			② 役務費	①通信運搬費	1,188	
			③ 委託料	③施設機器等管理委託料	16,700	
			④ 使用料及び賃借料	⑨その他使用料及び賃借料	5,808	
			⑤ 備品購入費	③その他備品購入費	74,718	
実施計画No,	42					
* 三次市予算に関する説明書		⑥ (①~⑤の計) →			98,635	
該当ページ	184・185 /頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →			613	
		⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →			99,248	
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和8年度	99,248	45,295	0	0	4,000	49,953
(予定) 特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金	公立学校情報機器整備事業費補助金				
	県支出金					
	負担金	物品売払収入				
事業内容及びその目的 (めざすもの)	令和7年度より段階的に実施している端末更新により、1人1台端末を中心とした学習基盤を効果的に活用し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図ることで、児童生徒の学力の向上やこれからの社会に必要な情報活用能力等の育成を図る。					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>○需用費 (①消耗品費) 221千円 ・GIGA消耗品 (保護フィルム, タッチペン, AC充電器, ケーブル等)</p> <p>○需用費 (⑥修繕料) 613千円 ・iPad修繕その他修繕 iPad (第10世代) 40,810円×15台</p> <p>○役務費 (①通信運搬費) 1,188千円 ・GIGA回線利用料 NTT:3,960円×9回線×12ヵ月 428千円 プロバイダ: 7,040円×9回線×12ヵ月 760千円</p> <p>○委託料 (③施設機器等管理委託料) 16,700千円 ・GIGA端末運用保守, GIGAネットワーク保守</p> <p>○使用料及び賃借料 (⑨その他使用料及び賃借料) 5,808千円 ・GIGAフィルタリングソフト利用料</p> <p>○備品購入費 (③その他備品購入費) 74,718千円 ・児童生徒1人1台端末(iPad) の更新【国庫補助率2/3】 ※小学校19校のタブレット端末購入60,500円×1,235台</p>					
別添資料	無					
(一覧表/図面等)						
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)						
個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善が求められている中、これを実現するためにはICTの活用は必要不可欠である。また、令和7年度から段階的に次期末更新を開始しているが、更新した端末活用を支えるための環境整備 (保守・修繕・授業支援デジタル教材の検討等) を含め、一体的に実施する。						

款	項	目	担当部局・課名			
10	1	3	教育部・学校教育課			
事業区分		新規事業		政策3 子どもの未来応援		
事業名		事業 (経費) 内の主 たる費 目	節名称	細節名称	予算額 (千円)	
三次版学校ICT活用事業 (授業支援アプリ利用)			① 使用料及び賃借料	⑨その他使用料及び賃借料	8,000	
			②			
			③			
			④			
実施計画No,		43	⑤			
*三次市予算に関する説明書		⑥ (①~⑤の計) →			8,000	
該当ページ	184・185 /頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 *該当なし"0"を挿入 →			0	
		⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →			8,000	
歳入に関する項目	予算額 (千円)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
	(⑧)	国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和8年度	8,000	0	0	0	8,000	0
(予定)	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
特定財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金	過疎地域持続的発展基金繰入金				
事業内容及びその目的 (めざすもの)	授業支援アプリ (授業支援ツール・デジタルドリル) の一体的な導入による、個別最適で協働的な学びに向けた授業改善及び児童生徒の資質・能力の育成。					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>○使用料及び賃借料 (⑨その他使用料及び賃借料) 8,000千円 ・授業支援アプリ利用料</p> <div style="text-align: center;"> <h3>市内統一のデジタル学習基盤の整備を通じた 学習のあり方や指導方法の改革</h3> <p>現状 → 新たなツールの導入 → 今後</p> <p>授業支援ツール及びデジタルドリル一体の</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 授業支援ツール (ロイロノート) は共通した物を使用 デジタルドリルについては、各校で異なる物を導入、もしくは未導入 市で一括導入している授業支援ツールの活用率のバラツキ 一人一台端末の更新と合わせた、端末の更なる効果的な活用促進 デジタル学習基盤の普段使いによる学びの質の改善・充実 学校間の実践交流の促進 学力テストとの連携による基礎基本の定着 					
別添資料	無					
(一覧表/図面等)						
<p>継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)</p>						
<p>これまで、授業支援ツールは市内共通のツールを使用し、デジタルドリルについては各校の判断に委ねられてきたが、令和8年度より授業支援ツール及びデジタルドリルの一体的な導入により、市内統一のデジタル学習基盤による学びの質の改善・充実を図る。</p>						

款	項	目	担当部局・課名			
10	1	3	教育部・学校教育課			
事業区分		継続事業		政策3 子どもの未来応援		
事業名		事業 (経費) 内の主 たる費 目	節名称	細節名称	予算額 (千円)	
いじめ防止・不登校対策推進事業			① 報酬	④会計年度任用職員報酬	13,025	
			② 職員手当等	⑬一般職期末手当	2,737	
			③ 職員手当等	⑭勤勉手当	2,304	
			④ 報 償 費	②講師謝礼	3,187	
			⑤ 委 託 料	①業務委託料 (物件費)	1,912	
実施計画No,	48					
* 三次市予算に関する説明書		⑥ (①~⑤の計) →			23,165	
該当ページ	182・183 /頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →			1,553	
	184・185 /頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →			24,718	
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和8年度	24,718	0	0	0	24,700	18
(予定) 特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金	過疎地域持続的発展基金繰入金				
事業内容及びその目的 (めざすもの)	①いじめ・不登校の未然防止, 早期発見と初期対応, 不登校児童生徒の社会的自立に向けた取組 (教育支援ルーム等) を学校・家庭・地域と連携し取り組む。 ②いじめ対策の検討や相談窓口等, 今後一層の充実を図る。教育相談員, 青少年指導相談員, スクールカウンセラー等の人的な措置を行うことで, いじめ, 不登校に限らず, 生徒指導上の諸課題等への総合的な対応をする。					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	○報酬 (④会計年度任用職員報酬) 13,025千円 ・教育相談員報酬 (3名) 5,575千円 ・青少年指導相談員報酬 (4名) 7,450千円 ○職員手当等 (⑬一般職期末手当) 2,737千円 ・教育相談員報酬 (3名) 1,173千円 ・青少年指導相談員報酬 (4名) 1,564千円 ○職員手当等 (⑭勤勉手当) 2,304千円 ・教育相談員報酬 (3名) 988千円 ・青少年指導相談員報酬 (4名) 1,316千円 ○報償費 (②講師謝礼) 3,187千円 ・教育支援ルームカウンセリング講師謝金 等 367千円 ・三次市スクールカウンセラー相談業務謝礼 2,820千円 ○委託料 (①業務委託料 (物件費)) 1,912千円 ・総合質問紙調査 (小学校1回, 中学校2回)					
別添資料	無					
(一覧表/図面等)						
継続事業> 過去実績を検証して, 変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または, 継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)						
本市の不登校児童生徒数は増加傾向である。引き続き, 教育支援ルームやこども応援センターでの対応の充実など, 不登校児童生徒への支援に向けた取組を安定させる必要がある。また, 今後より一層, 個に応じた支援等を充実させ, 児童生徒が安全安心な学校生活を過ごし, 社会的自立を図ることができる居場所を確保する必要がある。						

款	項	目	担当部局・課名			
10	1	3	教育部・学校教育課			
事業区分		継続事業		政策3 子どもの未来応援		
事業名		事業 (経費) 内の主 たる費 目	節名称	細節名称	予算額 (千円)	
読書活動推進事業			① 需用費	①消耗品費	9,233	
			② 委託料	①業務委託料 (物件費)	4,267	
			③			
			④			
実施計画No,		46	⑤			
* 三次市予算に関する説明書		⑥ (①~⑤の計) →			13,500	
該当ページ	184・185 /頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →			0	
		⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →			13,500	
歳入に関する項目	予算額 (千円)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
	⑧	国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
	13,500	0	0	0	0	13,500
	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金					
事業内容及びその目的 (めざすもの)	読書活動推進事業として、学校図書館の図書の更新を図り、読書活動の推進をさせる読書活動推進員を全校に派遣したりすることで、児童生徒・教職員による学校図書館の活用の促進を図るとともに、児童生徒の読書意欲を喚起し、読書量の増加につなげる。					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>○需用費 (①消耗品費) 9,233千円 市内全小中学校30校が図書の購入</p> <p>○委託料 (業務委託料 (①物件費)) 4,267千円 読書活動推進業務委託として、読書活動推進員を市内全小中学校30校に派遣</p>					
	 <p>読書活動推進員による新着本の受入れ処理や展示</p>	 <p>読書活動推進員による本のメッセージカード作成講座</p>				
別添資料	無					
(一覧表/図面等)						
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入、DX等による手続きの簡素化、事業内容見直し、対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め、費用対効果が大い、対象が限定的、地域等との協議に基づく取組など)						
情報は常に更新されるべきものであり、学校図書館の蔵書の更新は継続的に必要である。また、令和7年度より、読書活動推進に向け重点的に取り組む学校を指定し、一層の読書環境の充実、読書意欲の喚起を行っている。						

款	項	目	担当部局・課名			
10	1	3	教育部・学校教育課			
事業区分		継続事業		政策3 子どもの未来応援		
事業名		事業 (経費) 内の主 たる費 目	節名称	細節名称	予算額 (千円)	
【みよし結芽人育成事業】			① 報 償 費	②講師謝礼	1,244	
教育政策研究事業			② 旅 費	①費用弁償	506	
コアカリキュラム推進プロジェクト			③ 旅 費	②普通旅費	1,085	
TRI-NEXT越境部			④ 委 託 料	①業務委託料 (物件費)	2,020	
実施計画No,		47	⑤ 使用料及び賃借料	④自動車借上料	1,886	
*三次市予算に関する説明書		⑥ (①~⑤の計) →			6,741	
該当ページ		182・183 /頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 *該当なし"0"を挿入 →		13	
		184・185 /頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →		6,754	
歳入に関する項目	予算額 (千円)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
	(⑧)	国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和8年度	6,754	0	0	0	0	6,754
(予定)	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
特定財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金					
事業内容及びその目的 (めざすもの)	教育政策研究事業として、教育政策研究チームによる先進的な教育政策の調査研究。 コアカリキュラム推進プロジェクトとして、三次独自の新たなカリキュラムの開発と教職員の研修。 TRI-NEXT越境部として、越境体験による児童生徒の課題解決能力の育成を行うことで、児童生徒が「未来を創る当事者」となり、中山間地のトップリーダーとなる人材を育成。					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<ul style="list-style-type: none"> ○報償費 (②講師謝礼) 1,244千円 <ul style="list-style-type: none"> ・教育政策研究事業 1,109千円 ・コアカリキュラム推進プロジェクト 135千円 ○旅費 (①費用弁償) 506千円 <ul style="list-style-type: none"> ・教育政策研究事業 6千円 ・コアカリキュラム推進プロジェクト 500千円 ○旅費 (②普通旅費) 1,085千円 <ul style="list-style-type: none"> ・教育政策研究事業 885千円 ・TRI-NEXT越境部 200千円 ○需用費 (①消耗品費) 10千円 <ul style="list-style-type: none"> ・TRI-NEXT越境部 10千円 ○役務費 (④その他保険料) 3千円 <ul style="list-style-type: none"> ・TRI-NEXT越境部 3千円 ○委託料 (①業務委託料 (物件費)) 2,020千円 <ul style="list-style-type: none"> ・TRI-NEXT越境部 2,020千円 ○使用料及び賃借料 (④自動車借上料) 1,886千円 <ul style="list-style-type: none"> ・コアカリキュラム推進プロジェクト 1,766千円 ・TRI-NEXT越境部 120千円 					
別添資料	 <p>令和7年7月実施「TRI-NEXT越境部」 大崎上島への越境体験</p>					
無 (一覧表/図面等)						
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大きい, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)						
令和8年度は、コアカリキュラムを全面実施する。教育政策研究事業、コアカリキュラム推進プロジェクト、TRI-NEXT越境部で「未来を創る当事者」を育てる教育を研究・推進する。						

款	項	目	担当部局・課名			
10	1	3	教育部・学校教育課			
事業区分		継続事業		政策3 子どもの未来応援		
事業名		事業 (経費) 内の主 たる費 目	節名称	細節名称	予算額 (千円)	
部活動指導員活用事業			① 報 酬	④会計年度任用職員報酬	6,057	
			② 旅 費	①費用弁償	763	
			③			
			④			
実施計画No,		⑤				
* 三次市予算に関する説明書		⑥ (①~⑤の計) →			6,820	
該当ページ	182・183 /頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →			0	
	184・185 /頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →			6,820	
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和8年度	6,820	0	2,114	0	0	4,706
(予定)	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
特定財源内訳	国庫支出金					
	県支出金	部活動指導員配置促進事業補助金				
	負担金					
事業内容及びその目的 (めざすもの)	中学校において、教員に代わり部活動の指導を行う部活動指導員を配置することで、生徒の部活動における技術力の確実な向上と、学校教育活動の一層の充実・教員の「働き方改革」の実現を図る。					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>○報酬 (④会計年度任用職員報酬) 6,057千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動指導員12名 【報酬】 1,600円×年3,640時間 (12名分) = 5,824千円 【地域手当相当】 64円×3,640時間 (12名分) = 233千円 <p>○旅費 (①費用弁償) 763千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通勤手当相当 523千円 ・生徒引率費 240千円 					
別添資料	無					
(一覧表/図面等)						
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)						
本事業により、顧問教員が部活動に関わる時間を削減することができ、どの学校においても、「顧問の負担が軽減されている」という回答が得られており、教員の働き方改革につながることも、生徒への専門的な指導を行うための必要な取組である。						

款	項	目	担当部局・課名			
10	1	3	教育部・学校教育課			
事業区分		継続事業（拡充）		政策3 子どもの未来応援		
事業名		事業 (経費) 内の主 たる費 目	節名称	細節名称	予算額 (千円)	
部活動の地域展開推進事業			① 報酬	④会計年度任用職員報酬	1,844	
			② 職員手当等	⑬一般職期末手当	385	
			③ 職員手当等	⑭勤勉手当	324	
			④ 報 償 費	①委員等謝礼	401	
		⑤ 旅 費	①費用弁償	242		
実施計画No,		49				
* 三次市予算に関する説明書		⑥ (①~⑤の計) →			3,196	
該当ページ		182・183 /頁		⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →	2,010	
		184・185 /頁		⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →	5,206	
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和8年度	5,206	0	2,711	0	0	2,495
(予定)	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
特定財源内訳	国庫支出金					
	県支出金	地域スポーツクラブ活動体制整備事業委託金				
	負担金					
事業内容及びその目的 (めざすもの)	子どもの「やりたい」「やってみたい」に応えるために、放課後や休日の部活動に限定せず、地域の歴史・文化の継承・伝承やボランティア活動を含めた活動の地域展開をめざす。					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<ul style="list-style-type: none"> ○報酬 (④会計年度任用職員報酬) 1,844千円 <ul style="list-style-type: none"> ・総括コーディネーター報酬 1,758千円 ・時間外勤務報酬 16千円 ・地域手当相当 70千円 ○職員手当等 (⑬一般職期末手当) 385千円 <ul style="list-style-type: none"> ・総括コーディネーター期末手当 ○職員手当等 (⑭勤勉手当) 324千円 <ul style="list-style-type: none"> ・総括コーディネーター勤勉手当 ○報償費 (①委員等謝礼) 401千円 <ul style="list-style-type: none"> ・協議会委員謝礼 学識 30千円×4回×1人 = 120千円 ・協議会委員謝礼 その他 7,800円×4回×9人 = 281千円 ○旅費 (①費用弁償) 242千円 <ul style="list-style-type: none"> ・総括コーディネーター費用弁償 159千円 ・協議会委員費用弁償 83千円 ○需用費 (①消耗品費) 30千円 <ul style="list-style-type: none"> ・周知のための用紙代 ○委託料 (①業務委託料 (物件費)) 1,980千円 <ul style="list-style-type: none"> ・部活動地域展開に向けた周知活動に係る委託 (地域クラブ体験イベント, 指導者講習会, PR動画作成等) 					
別添資料	無					
(一覧表/図面等)						
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)						
令和9年度の市内中学校の休日部活動地域展開に向けて、引き続き関係者との協議や関係団体との連携が必要である。令和8年度には、地域展開の受け皿となる運営団体・実施主体と学校との連絡調整等を行う「三次市地域クラブ」を設立していくため、中心的な役割を担う総括コーディネーターを配置し、取組を進めていく。						

款	項	目	担当部局・課名			
10	1	3	教育部・学校教育課			
事業区分		継続事業		政策3 子どもの未来応援		
事業名		事業 (経費) 内の主 たる費 目	節名称	細節名称	予算額 (千円)	
読解力向上事業			① 役 務 費	④手数料	2,068	
			② 委 託 料	①業務委託料 (物件費)	544	
			③			
			④			
実施計画No,		⑤				
* 三次市予算に関する説明書		⑥ (①~⑤の計) →			2,612	
該当ページ	184・185 /頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →			0	
		⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →			2,612	
歳入に関する項目	予算額 (千円)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
	⑧	国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
	2,612	0	0	0	0	2,612
	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金					
事業内容及びその目的 (めざすもの)	本市児童生徒の課題である読解力の向上を目指した「教科書を適切に読み取る力」と「中学校卒業段階における英語検定3級程度の英語力」の育成を図る。母語である日本語と外国語の習得については、相関関係があるとされており、母語、外国語の両面においての取組を進めることで、読解力を相乗的に高めていく。					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>○役務費 (④手数料) 2,068千円 内容：年間1回、検定料全額を補助 対象：中学校第1学年・第2学年</p> <p>○委託料 (①業務委託料 (物件費)) 544千円 内容：リーディングスキルテスト (基礎的な読む力を測るテスト) 指定校：小学校4校, 中学校1校 対象学年：小学校第5学年~中学校第3学年</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">リーディングスキルテストの結果を授業改善につなげる</p>					
別添資料	無					
(一覧表/図面等)						
<p>継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)</p> <p>「教科書を適切に読み取る力」の育成については、研究校で「リーディングスキルテスト (基礎的な読む力を測るテスト)」を用いた授業改善を進め、実践を市内に普及している。継続的に取り組むことで実践事例を増やし、一層の授業改善を図っていく。</p> <p>「中学校卒業段階における英語検定3級程度の英語力の育成」については、受検機会の拡大により、英語力及び学習意欲向上に結び付けていく。</p>						

款	項	目	担当部局・課名			
10	1	3	教育部・学校教育課			
事業区分		継続事業		政策3 子どもの未来応援		
事業名		事業 (経費) 内の主 たる費 目	節名称	細節名称	予算額 (千円)	
コミュニティ・スクール充実事業			① 報 償 費	②講師謝礼	787	
			② 旅 費	①費用弁償	30	
			③ 需 用 費	①消耗品費	1,041	
			④ 需 用 費	④印刷製本費	326	
			⑤ 使用料及び賃借料	④自動車借上料	286	
実施計画No,						
* 三次市予算に関する説明書		⑥ (①~⑤の計) →			2,470	
該当ページ	184・185 /頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →			10	
		⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →			2,480	
歳入に関する 項目	予算額 (千円)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
	⑧	国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和8年度	2,480	0	0	0	0	2,480
(予定) 特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金					
事業内容 及びその目的 (めざすもの)	地域と学校が、めざす子ども像や教育目標を共有し、全ての子どもの可能性を最大限に伸ばすための仕組みであるコミュニティ・スクールの活動および、その核となる学校運営協議会の運営に要する経費に充てることで、地域学校協働活動を充実につなげる。					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>○報償費 (②講師謝礼) 787千円 ・指導方法や学びをつなぐ、学校区合同での研修会への講師謝礼, 地域学習の講師謝礼等</p> <p>○旅費 (①費用弁償) 30千円 ・学校区主催の研修会に招聘に係る費用弁償</p> <p>○需用費 (①消耗品費) 1,041千円 ・教材・教具用紙, コミュニティ・スクールの広報等</p> <p>○需用費 (④印刷製本費) 326千円 ・学校の取組紹介カレンダー, 研究紀要印刷製本代等</p> <p>○使用料及び賃借料 (④自動車借上料) 286千円 ・児童生徒交流や校外学習のバス, タクシー借上料</p> <p>○役務費 (①通信運搬費) 10千円 ・切手代等</p>					
別添資料	無					
(一覧表/図面等)						
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)						
令和8年度は、市内全ての学校がコミュニティ・スクールを導入して2年目となる。学校、地域、家庭の社会総ぐるみで子どもを育ていく風土づくりを加速させるため、さらに市民に発信していく。						

款	項	目	担当部局・課名							
10	1	3	教育部社会教育課							
事業区分		継続事業		政策3 子どもの未来応援						
事業名		事業(経費)内の主たる費目	節名称	細節名称	予算額(千円)					
高校生地域活動支援事業		①	負担金, 補助及び交付金	⑤補助金(補助費)	900					
		②								
		③								
		④								
		⑤								
実施計画No,										
* 三次市予算に関する説明書				⑥(①~⑤の計)	900					
該当ページ	186・187 / 頁		⑦その他の節など(上記以外)の合計額 * 該当なし"0"を挿入		0					
			⑧(⑥+⑦) 事業合計額		900					
歳入に関する項目	予算額(千円) (⑧)	特定財源内訳(千円)				一般財源(千円)				
	900	国庫支出金	0	県支出金	0	市債	0	負担金等その他	0	900
	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称								
	国庫支出金									
	県支出金									
	負担金									
事業内容及びその目的(めざすもの)	高校生が取り組む地域振興や地域貢献活動など、郷土に愛着と誇りを持つ人材の育成に資する事業、学習活動等を支援することで、地域に開かれた高等学校を推進する。									
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>○負担金, 補助及び交付金 (⑤補助金(補助費))</p> <ul style="list-style-type: none"> 高校生地域活動支援事業補助金 300千円×3校 = 900千円(補助率: 10/10) <p>■補助要件</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象事業 郷土に愛着と誇りを持つ人材の育成に資する事業、学習活動、ボランティア活動、福祉活動等 対象経費 補助対象事業の運営に必要な消耗品購入費、通信運搬費、印刷製本費、謝礼及び交通費に要する費用等 交付限度額 高等学校1会計年度当たり30万円 									
別添資料	無									
(一覧表/図面等)	<p>参考: R7年度に高校生へ配付した広報チラシ</p>									
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または, 継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)										
三次市高校生地域活動支援事業補助金交付要綱の定めによる。										

款	項	目	担当部局・課名			
10	1	3	教育部・教育企画課			
事業区分		継続事業（拡充）		政策3 子どもの未来応援		
事業名		事業 (経費) 内の主 たる費 目	節名称	細節名称	予算額 (千円)	
十日市小学校等改築事業			① 委託料	④ 調査測量設計監理等委託料	277,800	
			② 工事請負費	① 工事請負費	329,000	
			③ 公有財産購入費	② 土地購入費	54,811	
			④			
実施計画No,		52	⑤			
* 三次市予算に関する説明書		⑥ (①~⑤の計) →			661,611	
該当ページ	186・187 / 頁	⑦ その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →			0	
		⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →			661,611	
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和8年度	661,611	61,867	0	592,100	0	7,644
(予定) 特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金	学校施設環境改善交付金				
	県支出金					
	負担金					
事業内容及びその目的 (めざすもの)	令和2年度に文部科学省の示す基準に基づき行った各学校の劣化状況調査で、校舎の健全度が2番目に低い十日市小学校について、児童生徒の良好な学習環境や生活環境を確保するため、隣接する十日市中学校と合わせ「施設一体型小中一貫校」として整備する。					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>○委託料 (④ 調査測量設計監理等委託料) 277,800千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 改築工事基本・実施設計 262,000千円【R7債務負担行為】 小学校屋内運動場改修工事監理 7,200千円 小学校給食調理場解体工事監理 1,000千円【R7債務負担行為】 連絡通路家屋解体設計 5,000千円 改築に係る関連測量調査 2,600千円 <p>○工事請負費 (① 工事請負費) 329,000千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学校屋内運動場改修工事 300,000千円 (屋根改修, 空調設備新設, アリーナ床改修, トイレ改修, 建具改修, 収納台車改修等) 小学校給食調理場解体工事 29,000千円【R7債務負担行為】 <p>○公有財産購入費 (② 土地購入費) 54,811千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 連絡通路用地購入 (土地開発基金からの買戻し) 					
別添資料	無					
(一覧表/図面等)	 <p>【十日市小・中学校新校舎イメージ図】</p> <p>グラウンド側からみた新校舎</p>					
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)						
本事業は、十日市小・中学校建替えに係る複数年 (R7年度~R11年度) の事業である。						

款	項	目	担当部局・課名			
10	1	3	教育部・教育企画課			
事業区分		継続事業		政策3 子どもの未来応援		
事業名		事業 (経費) 内の主 たる費 目	節名称	細節名称	予算額 (千円)	
三次小学校改築事業			① 委託料	④ 調査測量設計監理等委託料	9,700	
			② 工事請負費	① 工事請負費	257,300	
			③			
			④			
実施計画No,	51	⑤				
* 三次市予算に関する説明書		⑥ (①~⑤の計) →		267,000		
該当ページ	186・187 / 頁	⑦ その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →		0		
		⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →		267,000		
歳入に関する項目	予算額 (千円)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
	⑧	国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和8年度	267,000	81,175	0	183,400	0	2,425
(予定) 特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金	学校施設環境改善交付金				
	県支出金					
	負担金					
事業内容及びその目的 (めざすもの)	児童の良好な学習環境や生活環境の確保と災害時における児童等の安全な避難場所を確保するため、屋内運動場の改修を行う。					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>○委託料 (④調査測量設計監理等委託料) 9,700千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋内運動場改修工事監理 7,200千円 ・校舎改築に伴う家屋等事後調査 2,500千円 <p>○工事請負費 (①工事請負費) 257,300千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋内運動場改修工事 (天井材落下防止, 空調設備新設, アリーナ床改修, トイレ改修, LED化等) <p>【現在の屋内運動場状況】</p> 					
別添資料	無 (一覧表/図面等)					
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)						
本事業は、三次小学校建替えに係る関連事業 (R5年度~R8年度) である。						

款	項	目	担当部局・課名		教育部・教育企画課	
10	1	3	事業区分		継続事業 政策3 子どもの未来応援	
事業名		事業 (経費) 内の主 たる費 目	節名称		細節名称	
小中学校トイレ洋式化事業			① 委託料	④ 調査測量設計監理等委託料		2,400
			② 工事請負費	① 工事請負費		10,000
			③			
			④			
実施計画No,		⑤				
* 三次市予算に関する説明書		⑥ (①~⑤の計) →			12,400	
該当ページ	186・187 / 頁	⑦ その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →			0	
		⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →			12,400	
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和8年度	12,400	0	0	12,400	0	
(予定) 特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金					
事業内容及びその目的 (めざすもの)	教育環境の充実及び災害時の避難所の生活環境の充実を図るため、避難所に指定されている学校の体育館、多目的トイレがない学校のトイレの洋式化工事を行う。					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	○委託料 (④ 調査測量設計監理等委託料) 2,400千円 ・八次中学校トイレ改修工事監理 (2階) 400千円 ・八次中学校トイレ改修設計 (3・4階) 2,000千円 ○工事請負費 (① 工事請負費) 10,000千円 ・八次中学校トイレ改修工事 (2階) 【現在のトイレ状況 (八次中学校)】					
	 <p>男子トイレ</p>	 <p>女子トイレ</p>				
別添資料	無 (一覧表/図面等)					
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)						
教育環境の充実及び災害時の避難所の生活環境の充実を図る。						

款	項	目	担当部局・課名			
10	5	1	教育部・社会教育課			
事業区分		継続事業		政策3 子どもの未来応援		
事業名		事業 (経費) 内の主 たる費 目	節名称	細節名称	予算額 (千円)	
地域学校協働活動推進事業			① 報 償 費	①委員等謝礼	928	
			② 報 償 費	②講師謝礼	31	
			③			
			④			
実施計画No,		⑤				
* 三次市予算に関する説明書		⑥ (①~⑤の計) →		959		
該当ページ	192・193 /頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →		0		
		⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →		959		
歳入に関する 項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
	959	0	638	0	0	321
	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金	学校・家庭・地域連携協力推進事業県費補助金				
	負担金					
事業内容 及びその目的 (めざすもの)	子どもを取り巻く環境が変化する中で、地域と学校とのつながりの構築の必要となっている。このつながりづくりを進めるため、各地域ごとにコーディネート役となる地域学校協働活動推進員を配置し、学校と地域社会が連携した取組を推進する。					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>○報償費 (①委員等謝礼) 928千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域学校協働活動推進員謝礼 令和7年度地域学校協働活動推進員委嘱人数：13人 1,189円/時間×5日/月×12月×13人 <p>○報償費 (②講師謝礼) 31千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域学校協働活動推進員研修会謝礼 <p>※参考：推進員の委嘱数 令和7年度 13人 (統括・三次・十日市・八次・三良坂・布野・作木・甲奴・君田・吉舎・三和・塩町・川地)</p>					
別添資料	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>地域学校協働活動推進員対象の研修会</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>君田小学校の取組 (コメコメ大作戦)</p> </div> </div>					
無 (一覧表/図面等)						
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)						
地域学校協働活動推進員は、地域と学校とのつながりづくりを構築するためのコーディネート役を担う。子どもたちと多様な地域の人々とのつながりづくりは子どもたちにとって貴重な経験であり、これらの経験を通して、地域の積極的に関わる人材の育成を図っていく。						

款	項	目	担当部局・課名		教育部・学校教育課		
10	6	3					
事業区分		継続事業		政策3 子どもの未来応援			
事業名		事業 (経費) 内の主 たる費 目	節名称		細節名称	予算額 (千円)	
三次学校給食センター給食配送業務			① 委託料		①業務委託料 (物件費)	55,865	
			②				
			③				
			④				
実施計画No,		⑤					
*三次市予算に関する説明書				⑥ (①~⑤の計) →		55,865	
該当ページ		204・205 /頁		⑦その他の節など (上記以外) の合計額 *該当なし"0"を挿入 →		0	
				⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →		55,865	
歳入に関する 項目	予算額 (千円) (⑧)		特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
			国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和8年度	55,865		0	0	0	0	55,865
(予定) 特定財源内訳	財源区分		補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金						
	県支出金						
	負担金						
事業内容及びその目的 (めざすもの)		三次市三次学校給食センターで調理した給食を、衛生的に管理し、安全かつ決められた時間内に給食受配校 (小学校15校, 中学校7校) へ配送するため、給食配送業務を専門業者へ委託するもの。					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等		<p>○委託料 (①業務委託料 (物件費)) 55,865千円 ・給食運搬業務</p>    					
別添資料		無 (一覧表/図面等)					
<p>継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)</p>							
<p>本業務は、令和5年7月1日から令和10年7月31日までの5年間の契約を締結している。</p>							

款	項	目	担当部局・課名			
10	6	3	教育部・学校教育課			
事業区分		新規事業		政策3 子どもの未来応援		
事業名		事業 (経費) 内の主 たる費 目	節名称	細節名称	予算額 (千円)	
学校給食費支援事業			① 負担金, 補助及び交付金	⑤補助金 (補助費)	184,685	
			②			
			③			
			④			
実施計画No,		⑤				
* 三次市予算に関する説明書		⑥ (①~⑤の計) →		184,685		
該当ページ	206・207 /頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →		0		
		⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →		184,685		
歳入に関する項目	予算額 (千円)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
	⑧	国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和8年度	184,685	0	121,693	0	31,496	31,496
(予定) 特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金	学校給食費支援事業補助金				
	負担金	ふるさと創生基金繰入金				
事業内容及びその目的 (めざすもの)	国による学校給食費の抜本的な負担軽減 (いわゆる給食無償化) として、小学校段階(公立)の学校給食に係る食材費の支援が実施される見込みである。これにあわせて、本市の独自の支援として、小学校の国からの支援との差額と中学校の学校給食費の無償化を行うことで、子育て支援につなげる。					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>○負担金, 補助及び交付金 (⑤補助金 (補助費)) 184,685千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校給食費支援事業費補助金 <ul style="list-style-type: none"> 小学校 121,693千円 (内訳: 通常学級児童分118,862千円, 特別支援学級児童分2,831千円) ※通常学級児童分 : 5,200円×11月×2,078人 特別支援学級児童分: 5,200円×11月×3/4×66人 (1/4は現行制度による支援あり) 中学校 62,992千円 (内訳: 通常学級生徒分61,898千円, 特別支援学級生徒分1,094千円) ※要保護児童生徒分を除く 					
	<p>【調理状況】</p> 	<p>【給食風景】</p> 				
別添資料	無					
(一覧表/図面等)						
<p>継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)</p>						

款	項	目	担当部局・課名			
10	6	3	教育部・学校教育課			
事業区分		継続事業		政策3 子どもの未来応援		
事業名		事業 (経費) 内の主 たる費 目	節名称	細節名称	予算額 (千円)	
学校給食食育推進事業			① 負担金, 補助及び交付金	⑤補助金 (補助費)	1,498	
			②			
			③			
			④			
実施計画No,		⑤				
* 三次市予算に関する説明書		⑥ (①~⑤の計) →			1,498	
該当ページ	206・207 /頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →			0	
		⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →			1,498	
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
令和8年度	1,498	0	0	0	0	1,498
(予定) 特定財源内訳	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金					
事業内容及びその目的 (めざすもの)	市内の小・中学校において、三次を代表する食材 (ピオーネ・梨などの三次ブランドの食材) を活用したメニューの給食を実施し、その食材費に係る費用を補助金として交付する。 市内の児童生徒が三次を代表する食材を学校給食で食べることにより、三次ブランドの浸透を図るとともに、郷土愛の醸成を図る。					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	○負担金, 補助及び交付金 (⑤補助金 (補助費)) 1,498千円 ・学校給食地産地消推進事業補助金 3,830人 (市内の児童生徒・教職員等) ×391円 (3回分: ピオーネ, 梨, 三次和牛) 【ピオーネ畑と給食の様子】   【梨畑と給食の様子】  					
別添資料	無					
(一覧表/図面等)						
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)						
事業継続により、三次ブランドへの意識の向上及び郷土愛を育むことにつながる。						

款	項	目	担当部局・課名		
10	5	4	教育部・社会教育課		
事業区分		継続事業		政策 4 豊かな心と生きがい	
事業名		事業 (経費) 内の主 たる費 目	節名称	細節名称	予算額 (千円)
史跡寺町廃寺跡整備事業			① 報 償 費	①委員等謝礼	371
			② 旅 費	①費用弁償	100
			③ 旅 費	②普通旅費	56
			④ 委 託 料	④調査測量設計監理等委託料	8,776
		⑤			
実施計画No,		56			
* 三次市予算に関する説明書		⑥ (①~⑤の計) →		9,303	
該当ページ	194・195 / 頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	
	196・197 / 頁	⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →		9,303	
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)			一般財源 (千円)
	9,303	国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他
		4,651	0	0	0
	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称			
	国庫支出金	歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業費補助金			
	県支出金				
	負担金				
事業内容及びその目的 (めざすもの)	史跡寺町廃寺跡の適切な保存と有効的な活用を目的とした整備事業。 令和8年度は、令和7年度に策定する「基本設計書」に基づき、整備工事に向けた実施設計を行う。 実施設計の策定にあたっては、本市の財政状況と乖離しない整備に努めるとともに、史跡の適切な保存と幅広い世代の 興味・関心をひきつける活用策を引き続き検討する。				
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	○報償費 (①委員等謝礼) 371千円 ・整備検討委員会【3回分】の委員等謝礼 20,000円×5人×3回 (学識経験者), 7,800円×3人×3回 (市文化財保護委員及び地元代表) ○旅費 (①費用弁償) 100千円 ・委員会出席に伴う策定委員及び文化庁担当官の費用弁償 ○旅費 (②普通旅費) 56千円 ・文化庁協議に係る旅費等 担当課職員: 27,960円×2人日 (京都) ○委託料 (④調査測量設計監理等委託料) 8,776千円 ・実施設計策定業務 【これまでの経過】 平成30~令和3年度: 発掘調査, 発掘調査総括報告書の刊行, 令和4~5年度: 「保存活用計画」の策定 令和6年度: 「整備基本計画」の策定, 令和7年度: 「基本設計」の策定				
別添資料	無				
(一覧表/図面等)	 史跡寺町廃寺跡 (現況)		 史跡整備イメージ		
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)					
国の史跡である寺町廃寺跡について、適切な保存と有効的な活用を目的とした平成29年度からの継続事業である。 実施にあたっては、国の社会情勢や本市の財政状況と乖離しない整備に努めるとともに、文化庁をはじめとした関係機関との連携も図る。					

款	項	目	担当部局・課名			
10	5	4	教育部・社会教育課			
事業区分		新規事業		政策 4 豊かな心と生きがい		
事業名		事業 (経費) 内の主 たる費 目	節名称	細節名称	予算額 (千円)	
県史跡保存修理事業			① 負担金, 補助及び交付金	⑤補助金 (補助費)	1,666	
			②			
			③			
			④			
実施計画No,		⑤				
* 三次市予算に関する説明書		⑥ (①~⑤の計) →			1,666	
該当ページ	196・197 / 頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →			0	
		⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →			1,666	
歳入に関する 項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
	1,666	0	0	0	0	1,666
	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金					
事業内容 及びその目的 (めざすもの)	県史跡頼杏坪役宅の保存と活用を図るため、県指定の文化財の保存修理に対する県補助金 (1/2補助) に係る所有者負担分に対し補助を行う。					
事業の積算根拠等	【県史跡頼杏坪役宅保存修理事業】 ○負担金, 補助及び交付金 (⑤補助金 (補助費)) 1,666千円 ・建物内部の建具等と屋根の補修等 全体事業費 : 6,665千円 (所有者負担 (1/4) : 1,667千円, 市補助金(1/4):1,666千円, 県補助金(1/2) : 3,332千円)					
(詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等						
別添資料	無					
(一覧表/図面等)	県史跡 頼杏坪役宅					
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)						

款	項	目	担当部局・課名			
10	5	4	教育部・社会教育課			
事業区分		継続事業		政策 4 豊かな心と生きがい		
事業名		事業 (経費) 内の主 たる費 目	節名称	細節名称	予算額 (千円)	
重要文化財保存修理事業			① 負担金, 補助及び交付金	⑤補助金 (補助費)	750	
実施計画No,			②			
			③			
			④			
* 三次市予算に関する説明書		⑤				
該当ページ		196・197 / 頁	⑥ (①~⑤の計) →		750	
		/ 頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →		0	
			⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →		750	
歳入に関する 項目	予算額 (千円)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
	⑧	国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	
	750	0	0	0	0	750
	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金					
事業内容 及びその目的 (めざすもの)	重要文化財奥家住宅の保存と活用を図るため、国指定の文化財の保存修理に対する補助に加えて、事業主体である所有者に対し補助を行う。					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>【重要文化財奥家住宅保存修理事業】</p> <p>○負担金, 補助及び交付金 (⑤補助金 (補助費)) 750千円</p> <p>前回の保存修理から約15年を経過しており、重要文化財の保存と活用を図るため、屋根などの修理を行う。</p> <p>補助率 国: 85% 県・市・所有者: 各5%</p> <p>(全体事業費 180,000千円 (R5:8,000千円 R6: 73,000千円 R7: 84,000千円 R8:15,000千円))</p> <ul style="list-style-type: none"> ●事業計画期間 4年 (令和5年度~令和8年度) ●県・市・所有者負担 各5% 各9,000千円 (R5:各400千円 R6: 各3,650千円 R7: 各4,200千円 R8: 各750千円) ●国庫補助 85% 153,000千円 (R5:6,800千円 R6: 62,050千円 R7: 71,400千円 R8: 12,750千円) 					
別添資料	無					
(一覧表/図面等)	 <p>差し茅 (さしがや) によって修理された重要文化財 奥家住宅 (国指定) の屋根</p>					
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)						
重要文化財について、適切な保存と有効的な活用を目的とした整備事業である。 所有者の理解と適切な管理により実施する事業であり、国民の財産である文化財を次の世代に伝えていくために欠かすことのできない事業である。						

款	項	目	担当部局・課名			
10	5	5	教育部・社会教育課			
事業区分		継続事業（拡充）		政策4 豊かな心と生きがい		
事業名		事業 (経費) 内の主 たる費 目	節名称	細節名称	予算額 (千円)	
子ども文化芸術ふれあい事業			① 負担金, 補助及び交付金	⑤補助金 (補助費)	7,250	
			②			
			③			
			④			
実施計画No,	54	⑤				
* 三次市予算に関する説明書		⑥ (①~⑤の計) →			7,250	
該当ページ	200・201 /頁	⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →			0	
		⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →			7,250	
歳入に関する項目	予算額 (千円) ⑧	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)
	7,250	国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他	0
	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称				
	国庫支出金					
	県支出金					
	負担金	基金利子				
事業内容及びその目的 (めざすもの)	三次の未来を担う子どもたちが芸術文化に触れ、芸術作品や表現活動への関心を高めることを目的とする。また、芸術作品への関心を高め、豊かな感性を育む活動をととして情操を高めることに寄与する。					
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>○負担金、補助及び交付金 (⑤補助金 (補助費)) 7,250千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 子ども文化芸術ふれあい事業補助金 <ul style="list-style-type: none"> 三次市小・中学生芸術鑑賞事業実行委員会への補助 <ul style="list-style-type: none"> ● 美術鑑賞事業 <ul style="list-style-type: none"> 市内美術館等文化施設への児童生徒移送費に対する支援 ● 学校における文化芸術鑑賞事業 <ul style="list-style-type: none"> 学校等を会場とした文化芸術鑑賞活動や地域文化や歴史など地域間交流の取組に対する支援 ● 公演事業 <ul style="list-style-type: none"> 市内児童 (5・6年生) を対象とした劇団四季招待公演「こころの劇場」の実施 劇団四季によるファミリーミュージカル公演の実施 					
別添資料	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>令和7年度 学校における文化芸術鑑賞事業の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>令和7年度 美術鑑賞事業の様子</p> </div> </div>					
無 (一覧表/図面等)						
<p>継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)</p>						
<p>令和7年度から新規事業として学校を会場とした文化芸術鑑賞事業に対しても支援を拡充した。 小中学生が芸術文化に触れる機会に対し支援することで、豊かな学習体験につなげる。</p>						

款	項	目	担当部局・課名		
10	5	5	教育部・社会教育課		
事業区分		継続事業（拡充）		政策 4 豊かな心と生きがい	
事業名		節名称	細節名称	予算額（千円）	
奥田元宋・小由女美術館開館20周年記念展実施事業		① 負担金、補助及び交付金	⑤補助金（補助費）	15,000	
		②			
		③			
		④			
		⑤			
実施計画No,		53			
* 三次市予算に関する説明書		⑥（①～⑤の計） →		15,000	
該当ページ		200・201 / 頁		⑦その他の節など（上記以外）の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →	
				0	
		⑧（⑥+⑦）事業合計額 →		15,000	
歳入に関する項目	予算額（千円） ⑧	特定財源内訳（千円）			
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他
	15,000	0	0	0	15,000
	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称			
	国庫支出金				
	県支出金				
	負担金	宝くじコミュニティ助成金・ふるさと創生基金繰入金			
事業内容及びその目的 (めざすもの)	奥田元宋・小由女美術館開館20周年を記念し、奥田元宋の画業を顕彰する。元宋作品とともに、元宋に影響を与えた作家や交友の作家、奥田小由女の作品を交えて画業をたどる記念展を実施する。これにより、三次市民に芸術文化に触れる機会を提供し、地元ゆかりの作品や奥田元宋や関連作家の作品を鑑賞することで、三次の芸術文化に対する誇りを醸成する。				
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>○負担金、補助及び交付金（⑤補助金（補助費）） 15,000千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美術館企画展示事業補助金 「館開館20周年記念展 奥田元宋展—縁の作家たちとともに」の開催費用として、公益財団法人奥田元宋・小由女美術館に対し、補助金を交付する。 <p>【補助金の内訳】</p> <ul style="list-style-type: none"> 旅費：500千円 需用費：2,000千円（印刷製本費） 役務費：2,500千円（賃借料・広告費・保険料） 委託料：10,000千円（作品郵送・展示業務、看板製作等） <p>【会期】</p> <p>令和8年4月23日（木）から6月21日（日）まで</p>				
別添資料	無				
(一覧表/図面等)	 <p>令和4年度に開催した「文化勲章受章記念 奥田小由女展」</p>				
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点（ICTの導入、DX等による手続きの簡素化、事業内容見直し、対象者拡大など）または、継続としたその主な理由（要綱等の定め、費用対効果が大い、対象が限定的、地域等との協議に基づく取組など）					
令和7年度に開催準備（借用候補作品の選定や調査、借用依頼、広報活動）を行い、令和8年度に記念展開催とするため事業継続とする。					

款	項	目	担当部局・課名																							
10	5	5	教育部・社会教育課																							
事業区分		継続事業		政策 4 豊かな心と生きがい																						
事業名		事業 (経費) 内の主 たる費 目	節名称	細節名称	予算額 (千円)																					
真田一幸スポーツ・文化子ども育成事業			① 備品購入費	③その他備品購入費	1,500																					
			② 負担金, 補助及び交付金	⑤補助金 (補助費)	3,500																					
			③																							
			④																							
		⑤																								
実施計画No,		55																								
* 三次市予算に関する説明書		⑥ (①~⑤の計) →		5,000																						
該当ページ		200・201 /頁		⑦その他の節など (上記以外) の合計額 * 該当なし"0"を挿入 →	0																					
				⑧ (⑥+⑦) 事業合計額 →	5,000																					
歳入に関する項目	予算額 (千円) (⑧)	特定財源内訳 (千円)				一般財源 (千円)																				
		国庫支出金	県支出金	市債	負担金等その他																					
令和8年度 (予定) 特定財源内訳	5,000	0	0	0	5,000	0																				
	財源区分	補助金・負担金・交付金等の名称																								
	国庫支出金																									
	県支出金																									
	負担金	真田一幸スポーツ・文化子ども育成基金繰入金																								
事業内容及びその目的 (めざすもの)	市内の概ね18歳以下の子どもを対象としたスポーツ・文化の振興及び育成を図るため、スポーツ・文化活動に自主的に取り組む団体に対して、三次市真田一幸スポーツ・文化子ども育成事業補助金の交付及びスポーツ・文化活動で使用する用具を購入する。																									
事業の積算根拠等 (詳細説明) 事業一覧表/状況写真/図面等	<p>○負担金、補助及び交付金 (⑤補助金 (補助費)) 3,500千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・真田一幸スポーツ・文化子ども育成事業補助金 子どもを対象とした市内のスポーツ・文化団体、または子どもの健全な育成を目的として、スポーツ・文化活動に自主的に取り組む団体等を対象に補助金を交付する。 <p>申請見込70件× 補助上限額50千円 = 3,500千円</p> <p>○備品購入費 (③その他備品購入費) 1,500千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・真田一幸スポーツ・文化子ども育成事業用具購入 スポーツや文化活動で使用する用具を購入する。 <p>※令和7年度購入 実績</p> <table border="1"> <tr> <td>三次市営球場</td> <td>防球フェンス (Wネット) 3×3m</td> <td>3 枚</td> </tr> <tr> <td></td> <td>防球フェンス (Wネット) 3×4m</td> <td>2 枚</td> </tr> <tr> <td></td> <td>L型投手用防球フェンス (Wネット)</td> <td>1 枚</td> </tr> <tr> <td>三次市民ホール</td> <td>コンサート用バスドラム32インチ</td> <td>1台</td> </tr> <tr> <td></td> <td>バスドラム用スタンド</td> <td>1台</td> </tr> <tr> <td></td> <td>グロッケンシュピール</td> <td>1台</td> </tr> <tr> <td></td> <td>グロッケンシュピールスタンド</td> <td>1台</td> </tr> </table>					三次市営球場	防球フェンス (Wネット) 3×3m	3 枚		防球フェンス (Wネット) 3×4m	2 枚		L型投手用防球フェンス (Wネット)	1 枚	三次市民ホール	コンサート用バスドラム32インチ	1台		バスドラム用スタンド	1台		グロッケンシュピール	1台		グロッケンシュピールスタンド	1台
三次市営球場	防球フェンス (Wネット) 3×3m	3 枚																								
	防球フェンス (Wネット) 3×4m	2 枚																								
	L型投手用防球フェンス (Wネット)	1 枚																								
三次市民ホール	コンサート用バスドラム32インチ	1台																								
	バスドラム用スタンド	1台																								
	グロッケンシュピール	1台																								
	グロッケンシュピールスタンド	1台																								
別添資料	無																									
(一覧表/図面等)																										
 <p>バスドラム</p>  <p>グロッケンシュピール</p>																										
継続事業> 過去実績を検証して、変更した点 (ICTの導入, DX等による手続きの簡素化, 事業内容見直し, 対象者拡大など) または、継続としたその主な理由 (要綱等の定め, 費用対効果が大い, 対象が限定的, 地域等との協議に基づく取組など)																										
真田一幸スポーツ・文化子ども育成基金を財源としており、寄附の趣旨に基づく要綱等の定めによる。																										